

**【表紙】**

【提出書類】	四半期報告書
【根拠条文】	金融商品取引法第24条の4の7第1項
【提出先】	関東財務局長
【提出日】	2018年11月9日
【四半期会計期間】	第24期第2四半期（自 2018年7月1日 至 2018年9月30日）
【会社名】	株式会社ニューフレアテクノロジー
【英訳名】	NuFlare Technology, Inc.
【代表者の役職氏名】	代表取締役社長 杉本 茂樹
【本店の所在の場所】	神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番1
【電話番号】	(045)370-9127
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 丹羽 淳
【最寄りの連絡場所】	神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番1
【電話番号】	(045)370-8836
【事務連絡者氏名】	取締役経理部長 丹羽 淳
【縦覧に供する場所】	株式会社東京証券取引所 (東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 第一部【企業情報】

## 第1【企業の概況】

## 1【主要な経営指標等の推移】

回次		第23期 第2四半期 連結累計期間	第24期 第2四半期 連結累計期間	第23期
会計期間		自2017年4月1日 至2017年9月30日	自2018年4月1日 至2018年9月30日	自2017年4月1日 至2018年3月31日
売上高	(千円)	19,655,929	23,087,909	41,555,301
経常利益	(千円)	4,572,736	5,859,175	9,522,391
親会社株主に帰属する四半期 (当期)純利益	(千円)	3,222,248	4,370,673	7,063,285
四半期包括利益又は包括利益	(千円)	3,258,168	4,229,952	7,184,571
純資産額	(千円)	62,590,567	68,946,485	66,516,970
総資産額	(千円)	82,261,636	95,373,511	95,233,949
1株当たり四半期(当期)純利益	(円)	268.52	364.23	588.61
潜在株式調整後1株当たり四半期 (当期)純利益	(円)	-	-	-
自己資本比率	(%)	76.1	72.3	69.8
営業活動によるキャッシュ・ フロー	(千円)	7,539,979	4,966,723	13,123,673
投資活動によるキャッシュ・ フロー	(千円)	635,212	1,647,014	1,762,877
財務活動によるキャッシュ・ フロー	(千円)	1,499,262	1,799,445	1,499,960
現金及び現金同等物の四半期末 (期末)残高	(千円)	42,619,252	48,598,165	47,071,198

回次		第23期 第2四半期 連結会計期間	第24期 第2四半期 連結会計期間
会計期間		自2017年7月1日 至2017年9月30日	自2018年7月1日 至2018年9月30日
1株当たり四半期純利益	(円)	144.69	478.32

- (注) 1. 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標の推移については記載しておりません。
2. 売上高には、消費税等を含んでおりません。
3. 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

## 2【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)が営む事業の内容について、重要な変更はありません。また、主要な関係会社における異動もありません。

## 第2【事業の状況】

### 1【事業等のリスク】

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。  
また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについて重要な変更はありません。

### 2【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

#### (1) 財政状態及び経営成績の状況

##### a. 財政状態

当第2四半期連結会計期間末における資産は、95,373,511千円(前連結会計年度末比139,561千円増)となりました。これは、現金及び預金、仕掛品等が増加した一方で、受取手形及び売掛金等が減少したことが主な要因となっております。

当第2四半期連結会計期間末における負債は、26,427,025千円(前連結会計年度末比2,289,952千円減)となりました。これは、未払法人税等が増加した一方で、前受金、退職給付に係る負債等が減少したことが主な要因となっております。

当第2四半期連結会計期間末における純資産は、68,946,485千円(前連結会計年度末比2,429,514千円増)となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純利益による増加に対して、配当金の支払いが発生したことが主な要因となっております。

##### b. 経営成績

当第2四半期連結累計期間における経済環境は、個人消費に持ち直しの動きがみられ、設備投資は増加しました。また、企業収益は改善し、雇用情勢も着実に改善する等、景気は緩やかな回復基調が続きました。

しかしながら、海外景気の下振れ等により、景気を下押しするリスクもあり、先行きは不透明な状況が続いております。

半導体業界においては、タブレット型端末やパソコン需要は低迷し、スマートフォン市場でも伸び悩みの動きがみられ、また、DRAM市場におきましては、先行き需給の悪化懸念もあり、一部の半導体メーカーで設備投資に慎重な動きもみられました。しかしながら、足元の半導体需要はアジア地域や米国を中心に高水準を維持し、半導体関連の設備投資におきましても、中国を中心として好調に推移しました。

このような環境のもとで、当社グループにおきましても、中国をはじめとするアジア地域を中心に、主力の電子ビームマスク描画装置並びにマスク検査装置及びSiCエピタキシャル成長装置を拡販してまいりました。

その結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、23,087,909千円(前年同期比17.5%増)、営業利益5,602,731千円(前年同期比23.3%増)、経常利益5,859,175千円(前年同期比28.1%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益4,370,673千円(前年同期比35.6%増)となりました。

セグメントの業績につきましては、当社グループは、同一セグメントに属する半導体製造装置及び同部品の製造販売を行っており、当該事業以外に事業の種類がないため、記載しておりません。

#### (2) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は、前連結会計年度末に比べ1,526,967千円増加し、48,598,165千円となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況は、次のとおりであります。

##### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果取得した資金は、4,966,723千円(前年同期は7,539,979千円の取得)となりました。これは主に、売上債権の減少2,509,045千円、税金等調整前四半期純利益5,859,175千円及び減価償却費1,383,917千円等に対し、たな卸資産の増加2,127,129千円及び退職給付に係る負債の減少1,887,881千円等が相殺されたことによります。

##### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、1,647,014千円(前年同期は635,212千円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出1,505,436千円及び定期預金の預入による支出150,750千円等によります。

##### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、1,799,445千円(前年同期は1,499,262千円の使用)となりました。これは主に、配当金の支払額1,798,988千円等によります。

(3) 経営方針・経営戦略等

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが定めている経営方針・経営戦略等について重要な変更はありません。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、当社グループが対処すべき課題について重要な変更はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発活動の金額は、4,809,282千円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動の状況に重要な変更はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

## 第3【提出会社の状況】

## 1【株式等の状況】

## (1)【株式の総数等】

## 【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	14,000,000
計	14,000,000

## 【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末現在発行数(株) (2018年9月30日)	提出日現在発行数(株) (2018年11月9日)	上場金融商品取引所名 又は登録認可金融商品 取引業協会名	内容
普通株式	12,000,000	12,000,000	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数 100株
計	12,000,000	12,000,000	-	-

## (2)【新株予約権等の状況】

## 【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

## 【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

## (3)【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

## (4)【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式総 数増減数 (株)	発行済株式総 数残高(株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金増 減額(千円)	資本準備金残 高(千円)
2018年7月1日～ 2018年9月30日	-	12,000,000	-	6,486,000	-	1,986,000

## (5) 【大株主の状況】

2018年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己 株式を除く。)の 総数に対する所有 株式数の割合(%)
東芝デバイス&ストレージ株式会社	東京都港区芝浦一丁目1番1号	6,000,100	50.00
東芝機械株式会社	東京都千代田区内幸町二丁目2番2号	1,808,900	15.07
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・凸版印刷株式会社退職給付信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	500,000	4.16
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505223(常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業部)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A.(東京都港区港南二丁目15番1号品川インターシティA棟)	241,400	2.01
NORTHERN TRUST CO.(AVFC) REHCR00(常任代理人香港上海銀行東京支店カストディ業務部)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK(東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	236,900	1.97
バンク オブ ニューヨーク ジャーシーエム クライアント アカウント ジエイピーアールデイ アイエスジー エフイー・エイシー(常任代理人株式会社三菱UFJ銀行)	PETERBOROUGH COURT 133 FLEET STREET LONDON EC4A2BB UNITED KINGDOM(東京都千代田区丸の内二丁目7番1号)	212,628	1.77
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	東京都中央区晴海一丁目8番11号	149,700	1.24
ステート ストリート バンク アンド トラスト カンパニー 505103(常任代理人株式会社みずほ銀行決済営業部)	P.O.BOX 351 BOSTON MASSACHUSETTS 02101 U.S.A.(東京都港区港南二丁目15番1号品川インターシティA棟)	139,600	1.16
ノーザン トラスト カンパニー エイブイエフシー リユーエスタックス エグゼンプテド ペンション ファンズ セキュリティ レンディング(常任代理人香港上海銀行東京支店カストディ業務部)	50 BANK STREET CANARY WHARF LONDON E14 5NT, UK(東京都中央区日本橋三丁目11番1号)	119,100	0.99
ゴールドマンサックスインターナショナル(常任代理人ゴールドマン・サックス証券株式会社)	133 FLEET STREET LONDON EC4A 2BB U.K.(東京都港区六本木六丁目10番1号六本木ヒルズ森タワー)	113,929	0.94
計	-	9,522,257	79.35

- (注) 1. 発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合は、小数点第3位以下を切り捨てております。
2. 2018年4月23日付で東芝デバイス&ストレージ株式会社から大量保有報告書にかかる変更報告書が関東財務局長に提出されており、東芝デバイス&ストレージ株式会社と東芝機械株式会社との間で、共同して株主権を行使する旨合意している旨が記載されております。また、親会社である株式会社東芝の、株式会社みずほ銀行、株式会社三井住友銀行及び三井住友信託銀行株式会社その他の取引金融機関合計35社に対する借入金等の債務を担保するため、東芝デバイス&ストレージ株式会社は、上記取引金融機関との間で、当社株式の全てを上記金融機関に差し入れる旨合意している旨が記載されております。
3. 2018年5月18日付でブランデス・インベストメント・パートナーズ・エル・ピーから大量保有報告書にかかる変更報告書が関東財務局長に提出されており、2018年5月15日現在で以下のとおり株式を保有している旨が記載されておりますが、当社として当第2四半期会計期間末現在の実質所有株式数の確認ができませんので上記「大株主の状況」には含めておりません。

氏名又は名称	住所	保有株券等の数 (株)	株券等保有割合 (%)
ブランデス・インベストメント・パートナーズ・エル・ピー	アメリカ合衆国、カリフォルニア州、サンディエゴ、エル・カミノ・レアル11988	855,000	7.13

## (6)【議決権の状況】

## 【発行済株式】

2018年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式	-	-	-
議決権制限株式(自己株式等)	-	-	-
議決権制限株式(その他)	-	-	-
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 100	-	-
完全議決権株式(その他)	普通株式 11,998,100	119,981	権利内容に何ら限定のない当社における標準となる株式であります。 なお、当社は1単元の株式数を100株とする単元株制度を採用しております。
単元未満株式	普通株式 1,800	-	-
発行済株式総数	12,000,000	-	-
総株主の議決権	-	119,981	-

(注)「単元未満株式」の欄には自己保有株式86株が含まれております。

## 【自己株式等】

2018年9月30日現在

所有者の氏名又は名称	所有者の住所	自己名義所有株式数(株)	他人名義所有株式数(株)	所有株式数の合計(株)	発行済株式総数に対する所有株式数の割合(%)
(株)ニューフレアテクノロジー	神奈川県横浜市磯子区新杉田町8番1	100	-	100	0.00
計	-	100	-	100	0.00

## 2【役員の状況】

該当事項はありません。

## 第4【経理の状況】

### 1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」（平成19年内閣府令第64号）に基づいて作成しております。

### 2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間（2018年7月1日から2018年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表について、PwCあらた有限責任監査法人による四半期レビューを受けております。

## 1【四半期連結財務諸表】

## (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2018年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2018年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	7,124,298	8,746,365
グループ預け金	40,000,000	40,000,000
受取手形及び売掛金	10,985,376	8,462,629
仕掛品	19,212,432	21,309,076
その他	3,011,374	2,151,567
流動資産合計	80,333,481	80,669,638
固定資産		
有形固定資産	9,324,799	9,086,228
無形固定資産	490,947	416,624
投資その他の資産	5,084,721	5,201,019
固定資産合計	14,900,467	14,703,872
資産合計	95,233,949	95,373,511
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,364,044	10,044,986
未払法人税等	410,044	1,641,760
前受金	10,828,081	10,019,834
製品保証引当金	457,942	554,068
役員賞与引当金	45,371	-
その他	3,139,587	2,628,432
流動負債合計	25,245,071	24,889,083
固定負債		
退職給付に係る負債	3,052,575	1,114,270
資産除去債務	418,331	422,870
その他	999	801
固定負債合計	3,471,906	1,537,942
負債合計	28,716,978	26,427,025
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,486,000	6,486,000
資本剰余金	1,986,000	1,986,000
利益剰余金	58,160,467	60,731,160
自己株式	785	1,242
株主資本合計	66,631,681	69,201,917
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	60,986	89,550
為替換算調整勘定	204,069	178,960
退職給付に係る調整累計額	379,767	344,842
その他の包括利益累計額合計	114,711	255,432
純資産合計	66,516,970	68,946,485
負債純資産合計	95,233,949	95,373,511

## (2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

## 【四半期連結損益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
売上高	19,655,929	23,087,909
売上原価	7,299,572	9,012,683
売上総利益	12,356,356	14,075,226
販売費及び一般管理費	7,812,193	8,472,495
営業利益	4,544,163	5,602,731
営業外収益		
受取利息	1,249	267,655
受取賃貸料	24,214	19,614
その他	5,267	27,975
営業外収益合計	30,732	315,244
営業外費用		
為替差損	158	54,480
減価償却費	1,568	1,568
その他	432	2,751
営業外費用合計	2,159	58,800
経常利益	4,572,736	5,859,175
税金等調整前四半期純利益	4,572,736	5,859,175
法人税、住民税及び事業税	1,290,269	1,766,364
法人税等調整額	60,218	277,862
法人税等合計	1,350,488	1,488,502
四半期純利益	3,222,248	4,370,673
親会社株主に帰属する四半期純利益	3,222,248	4,370,673

## 【四半期連結包括利益計算書】

## 【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
四半期純利益	3,222,248	4,370,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	-	150,536
為替換算調整勘定	7,949	25,109
退職給付に係る調整額	27,971	34,924
その他の包括利益合計	35,920	140,721
四半期包括利益	3,258,168	4,229,952
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3,258,168	4,229,952
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,572,736	5,859,175
減価償却費	1,054,365	1,383,917
製品保証引当金の増減額(は減少)	44,786	96,125
退職給付に係る負債の増減額(は減少)	66,508	1,887,881
退職給付に係る資産の増減額(は増加)	7,844	4,259
受取利息及び受取配当金	1,249	288,431
売上債権の増減額(は増加)	6,019,248	2,509,045
前受金の増減額(は減少)	63,780	808,246
たな卸資産の増減額(は増加)	604,081	2,127,129
仕入債務の増減額(は減少)	1,811,062	299,022
未収消費税等の増減額(は増加)	22,945	801,262
その他	283,925	19,517
小計	8,888,871	5,254,073
利息及び配当金の受取額	747	293,535
法人税等の支払額	1,349,640	580,886
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>7,539,979</b>	<b>4,966,723</b>
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の払戻による収入	59,340	50,250
定期預金の預入による支出	178,020	150,750
有形固定資産の取得による支出	475,685	1,505,436
無形固定資産の取得による支出	31,573	40,794
その他	9,274	283
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>635,212</b>	<b>1,647,014</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
自己株式の取得による支出	-	456
配当金の支払額	1,499,262	1,798,988
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>1,499,262</b>	<b>1,799,445</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	3,506	6,703
現金及び現金同等物の増減額(は減少)	5,409,009	1,526,967
現金及び現金同等物の期首残高	37,210,242	47,071,198
現金及び現金同等物の四半期末残高	42,619,252	48,598,165

【注記事項】

(追加情報)

(「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」等の適用)

「『税効果会計に係る会計基準』の一部改正」(企業会計基準第28号 平成30年2月16日)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用しており、繰延税金資産は投資その他の資産の区分に表示しております。

(四半期連結損益計算書関係)

販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
従業員給料及び手当	853,783千円	835,866千円
退職給付費用	75,901	113,169
製品保証引当金繰入額	62,842	234,720
研究開発費	4,435,529	4,809,282

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は下記のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)
現金及び預金勘定	42,795,832千円	8,746,365千円
預入期間が3か月を超える定期預金	176,580	148,200
グループ預け金	-	40,000,000
現金及び現金同等物	42,619,252	48,598,165

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 2017年4月1日 至 2017年9月30日)

1. 配当金支払額

(決議)	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額 (円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2017年6月27日 定時株主総会	普通株式	1,499,984	125	2017年3月31日	2017年6月28日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの

該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

1. 配当金支払額

（決議）	株式の種類	配当金の総額 （千円）	1株当たり 配当額 （円）	基準日	効力発生日	配当の原資
2018年6月26日 定時株主総会	普通株式	1,799,980	150	2018年3月31日	2018年6月27日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間末後となるもの  
該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社グループは、半導体製造装置及び同部品の製造販売事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

（1株当たり情報）

1株当たり四半期純利益及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 （自 2017年4月1日 至 2017年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）
1株当たり四半期純利益	268円52銭	364円23銭
（算定上の基礎）		
親会社株主に帰属する四半期純利益（千円）	3,222,248	4,370,673
普通株主に帰属しない金額（千円）	-	-
普通株式に係る親会社株主に帰属する四半期純利益（千円）	3,222,248	4,370,673
普通株式の期中平均株式数（株）	11,999,873	11,999,827

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

（重要な後発事象）

該当事項はありません。

2【その他】

該当事項はありません。

## 第二部【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

## 独立監査人の四半期レビュー報告書

2018年11月8日

株式会社ニューフレアテクノロジー

取締役会 御中

PWCあらた有限責任監査法人

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 澤山 宏行 印

指定有限責任社員  
業務執行社員 公認会計士 山上 真人 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ニューフレアテクノロジーの2018年4月1日から2019年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間（2018年7月1日から2018年9月30日まで）及び第2四半期連結累計期間（2018年4月1日から2018年9月30日まで）に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

### 四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

### 監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

### 監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ニューフレアテクノロジー及び連結子会社の2018年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

### 利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- 
- (注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社（四半期報告書提出会社）が別途保管しております。  
2. XBR Lデータは四半期レビューの対象には含まれていません。